

区分4

SIP (戦略的イノベーション創造プログラム)

「革新的燃焼技術」

研究開発提案書 (チーム用)

個別研究開発課題名	(20 字程度)	
研究責任者氏名		
所属機関・部署・役職		
研究者番号	(e-Rad へ研究者情報を登録した際に付与される 8 桁の研究者番号を記載して下さい。)	
機関名称:		
機関の長 (職・氏名): (提案に当たっては、学部・学科・研究所等の部局長ではなく、学長や理事長など機関機関の最高経営責任者の正式な承認が必要です。)	印	
要旨	400 字程度で「研究開発構想」(様式 1) の要点をまとめて下さい。	
研究開発チーム (いずれか 1 つを選択)	(A) ガソリン燃焼チーム (B) ディーゼル燃焼チーム (C) 制御チーム (D) 損失低減チーム	
研究開発期間	H26 年 9 月～H31 年 3 月 (開始時期は各種調整によって遅れることがあります。終了時期は評価によって変更されることがあります)	
研究開発費規模 (直接経費)	初年度 千円 (千円未満は四捨五入して下さい)	研究開発費総額 千円 (千円未満は四捨五入して下さい)

研究開発計画表

以下の例を参考に、次ページ以降の記載内容と対応づけて、本提案全体および研究項目ごとの研究開発計画を示してください。

○○ (例：(A) ガソリン燃焼) チーム「 (表紙に記載した個別研究開発課題名) 」

	初年度 (H26. 9～H27. 3)	2年度 (H27. 4～H28. 3)	3年度 (H28. 4～H29. 3)	4年度 (H29. 4～H30. 3)	最終年度 (H30. 4～H31. 3)
チーム全体	○○○○ → (目標1) ○○○○	○○○の確立 → (目標2) ○○○○	○○○○ → (目標3) ○○○○	○○○○ → (目標4) ○○○○	○○の実証
△△△△△△△△ (研究開発項目) 担当：○○大学	○○の解明とモデル構築		○○○○○○○○		○○○○
△△△△△△△△ (研究開発項目) 担当：○○大学	○○○○○○○○		○○○○	○○○○○○○○	
△△△△△△△△ (研究開発項目) 担当：○○大学	○○○○○○○○		○○○○	○○○○○○○○	
△△△△△△△△ (研究開発項目) 担当：○○大学	○○○○	○○○○○○○○		○○○○○○○○	

(研究開発の開始時期は各種調整によって遅れることがあります。終了時期は評価によって変更されることがあります。)

## 1. 研究開発構想

- ・ 評価者が理解しやすいように必要に応じて図表や言葉の解説を用いて、フォントサイズ 10.5 以上で、平易な文章で記載して下さい。
- ・ 様式1について、A4用紙で **8ページ以内(厳守)** にまとめて下さい。
- ・ e-Rad へアップロードできるファイルの最大容量は5MBです。ご注意下さい。

### (1) 研究開発構想の背景・位置づけ

本提案の背景・位置づけを以下の観点から記載して下さい。

- ・ 本提案の研究開発分野において、実用化までに克服すべき課題はどのようなものか
- ・ 当該課題において、既存技術はどの程度確立しており、本提案ではどこを鍵として取り組みどこまで解決するのか
- ・ そのうち、企業によるクローズドな開発あるいはアカデミアのみによる基礎研究では解決が難しく、基礎基盤研究から実用化に資する一貫した出口を見据えた本提案によって解決できると考えられる課題はどのようなものか
- ・ 当該課題が上記のように位置づけられる背景・理由はどのようなものか

### (2) 研究開発目標

本提案で研究開発期間終了時に達成すべき研究開発目標を以下の観点から記載してください。

- ・ 本提案全体について、研究期間終了時に達成すべき目標値はどのようなものか、また、最終年度までに実施する検証試験によって達成すべき目標値はどのようなものか、これらの目標値はどのような関係にあるか
- ・ 本提案全体および研究開発項目ごとの両方について、どのような目標値が得られたら検証試験を行うのか
- ・ 上記の目標値は、研究開発期間以降に実用化されるまでに達成されるべき値、提案時点での提案者らを含む国内外のアカデミアおよび産業において達成されている値において、相対的にどのような位置づけにあるのか(図表を用いて国際ベンチマークを提示すること)
- ・ 上記の技術的な目標値以外に達成すべき項目があるか

### (3) 研究開発計画

具体的な研究開発内容、アプローチの方法、既存技術との関係、マイルストーン等を含めた研究開発計画を記載して下さい。

- ・ 年度ごとに評価の対象とすべき技術的な目標を挙げ、それらの技術の積み重ねにより上記(2)を達成する道筋をタイムスケジュールとともに示して下さい。
- ・ その際、「ステップⅠ(企業が大学と協力し、メカニズム解析、モデル化、予測などの要素技術の研究と検証を行うステップ)」および「ステップⅡ(各企業の保有する機密が確保できる配慮をした上で、各種熱効率向上となる要素技術の研究と検証を行うステップ)」との対応付けを明確にしてください。
- ・ また、最終年度までに行う検証をどのように実施するのかを明確にしてください。
- ・ 複数の研究開発項目・目標に対し、優先度を示して下さい。大きなブレークスルーが必要な場合や、特にハイリスクでチャレンジングである場合は、その内容を示して下さい。
- ・ アプローチの方法について、従来技術との差別化、固有の方法の優位性等、その方法を選択した理由を記載して下さい。
- ・ この研究開発構想において想定される知的財産権等(出願やライセンス、管理を含む)について、現在の関連知的財産権取得状況、研究を進める上での考え方を記述して下さい。

### (4) 産学連携体制の構築

研究開発期間内に取り組む産学連携体制の構築について、以下の観点から記載して下さい。

- ・ 研究開発目標の達成に向けた効果的・効率的な研究開発の遂行のために、新たな人材の投入や育成も含め、クラスター大学間の連携やチーム全体の研究マネージメントをどのように実施するのか
- ・ また、本提案に参画する企業は、設備や人材の提供も含め、目標達成に向けて参画チームにどのように貢献するのか(「2-3. 企業の研究参画体制」と整合性をとって記載すること)
- ・ 本提案で管理・運営のための技能者が必要な研究設備の導入が構想されている場合、当該技能者をどのように確保するのか
- ・ 当該設備が共用にふさわしい場合(シャシーダイナモ、エンジンダイナモ等)、チーム間で当該設備を共用するために、どのようなシステム・体制を構築するのか、その際、所属機関はどのような役割を果たすのか
- ・ 内燃機関研究者の人材育成に向けて、どのような取り組みを行うのか、その際、所属機関はどのような役割を果たすのか
- ・ 本提案における研究開発や共用設備によって得られたデータを、大学、企業間で共有するための情報ネットワークおよびデータベースを構築することが有効であると考えられるが、その場合、それはどのようなものでどのように実現するか、その際、所属機関はどのような役割を果たすのか
- ・ また、本SIPを通じて、研究機関全体としての産学連携の強化に、具体的にどのように波及させていくのか

## (5) 研究開発期間以降の実用化までのシナリオ

研究開発期間以降の実用化までのシナリオについて、以下の観点から記載して下さい。

- ・ 本提案によって創出される基盤技術がどのようなもので、その技術が将来どのように実用化され、将来の二酸化炭素排出量削減、自動車産業の維持・強化にどのように貢献するか
- ・ 実用化に向けて、部材メーカー、計測機器メーカー、自動車企業など、どのような企業がどのような役割を果たすのか
- ・ 得られた基盤技術は自動車産業以外にも貢献するのか、その場合、どのような産業でどのように役立つのか

(制御関連の研究開発を提案する場合は以下も観点としてください)

- ・ 本提案で得られた制御/解析モデルやソフトウェアについて、標準化および国際的なデファクトスタンダード化はどのように実現されるのか
- ・ 本提案の成果による新制御や開発プロセスの革新によって、新しい産業の創出が期待できるのか、それはどのような産業でどのように役立つのか

## (6) 研究開発期間以降の産学連携体制への取り組み

研究開発期間以降、本提案でリーダー大学に構築された産学連携体制を持続的に維持・発展させていくシナリオについて、(5)とのシナジー効果を含めて、以下の観点から記載して下さい。

- (A) 本提案で共用にふさわしい研究設備(シャシーダイナモ、エンジンダイナモ等)を導入する場合、当該設備の管理・運営のための技能者や、他の研究機関と共用するシステム・体制を、所属機関の協力も含め、国などの公的な補助金に頼ることなくどのように自立的に維持・管理するのか
- (B) 世界トップレベルの内燃機関の産学協同研究および研究者育成のためのシステム・体制を、所属機関の協力も含め、どのように持続的に運用・発展させるのか
- (C) 本提案で構築した、研究開発や共用設備によって得られたデータを、大学、企業間で共有するための情報ネットワークおよびデータベースを、所属機関の協力も含め、どのように自立的に維持・管理するのか
- ・ 研究開発期間内および以降において、研究機関が、産学連携体制の構築や当該研究開発分野における上記(A)～(C)に取り組む根拠となる機関内の経営方針などがどのように整備されているのかを、その内容とともに必ず記載して下さい。
- ・ 研究機関全体としての持続的な産学連携の強化に具体的にどのように波及させていくのか(例えば、研究機関全体としての産学連携ポリシーの策定とそれに基づく機構や人事・給与等の諸制度の改定など)

## (7) 研究開発実施の基盤及び準備状況

本研究開発構想を推進する基盤となる以下について、具体的に記載して下さい。

- ・ 研究責任者自身(及び必要に応じて研究開発に参画する者)のこれまでの研究の経緯と成果
- ・ その他の予備的な知見やデータ等(存在する場合)

## 2. 研究開発実施体制

- ・ 2-1以降に、研究機関ごとの研究開発実施体制を記載してください。
- ・ 研究開発の目標を達成するのに最適な、研究開発実施体制および研究開発費計画を提案してください。これらの必要性・妥当性およびコストパフォーマンス等は、重要な選考の観点となります。
- ・ PD および評価委員による厳正な評価、SIP の予算状況、PD によるマネージメント等に応じ、採択後に見直されることがあります。

### 2-1. リーダー大学の研究開発実施体制

- ・ リーダー大学における、研究責任者を含む研究開発参加者を記入して下さい。
- ・ 研究責任者と同じ所属機関の研究開発参加者が、リーダー大学の研究実施項目及び概要とは明確に異なる内容で参加する場合は、クラスター大学として「2-2. クラスター大学の研究開発実施体制」に記入しても結構です。

#### リーダー大学

(記入例)

研究機関名	〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻		
当該研究機関からの研究開発参加者	氏名	役職	エフォート (研究責任者のみ)
(研究責任者→)	〇〇 〇〇	教授	〇〇%
	〇〇 〇〇	准教授	—
	〇〇 〇〇	特任教授	—

- ・ エフォートには、研究開発参加者の年間の全仕事時間（研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む）を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要なとなる時間の配分率（%）を記入して下さい。(P.エラー! ブックマークが定義されていません。もご参照ください)
- ・ 研究開発参加者のうち、提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員 〇名」といった記述でも結構です。
- ・ 研究開発参加者の行は、必要に応じて追加・削除して下さい。

#### ○ 特記事項

特別の任務等（研究科長等の管理職、学会長など）に仕事時間（エフォート）を要する場合には、その事情・理由を記入して下さい。

#### ○ 研究題目及び概要

- ・ 研究題目
- ・ 研究開発概要

当該機関が担当する研究の概要を簡潔に記載して下さい。

- ・ 研究開発構想における位置づけ

研究構想を実現するために当該機関が果たす役割等を記載して下さい。

## 2-2. クラスター大学の研究開発実施体制

- ・ クラスター大学の研究開発参加者を研究機関ごとに記入して下さい。
- ・ クラスター大学の数に上限はありませんが、研究開発構想の遂行に最適に必要な研究開発チームが編成されているかも重要な選考の観点となります。
- ・ 研究責任者が担う役割が中心的でない、クラスター大学の役割・位置づけが不明である研究開発チームの編成は、研究開発実施体制としては不適切です。

### クラスター大学 (1) (記入例)

研究機関名	◇◇研究機構 ◇◇研究所 (所属研究機関コード <sup>1)</sup> )		
当該研究機関からの研究開発参加者	氏名	役職	エフォート (主たる共同研究者のみ)
(主たる共同研究者→)	〇〇 〇〇 (研究者番号 <sup>2)</sup> )	主任研究員	◇◇%
	〇〇 〇〇	ユニットリーダー	—

- 1) 主たる共同研究者は、所属先の e-Rad 所属研究機関コードを記載して下さい。
- 2) 主たる共同研究者は、科学研究費補助金研究者番号がある方はその番号、ない方は e-Rad へ研究者情報を登録した際に付与される 8 桁の研究者番号を記載して下さい。

- ・ 研究開発参加者の行は、必要に応じて追加・削除して下さい。
- ・ クラスター大学 (1) の様式は、必要に応じて番号を増加し、追加してください。

### ○ 研究題目及び概要

- ・ 研究題目
- ・ 研究開発概要

当該機関が担当する研究の概要を簡潔に記載して下さい。

- ・ 研究開発構想における位置づけ

研究開発構想を実現するために当該機関が必要不可欠であることの理由、位置づけ (研究責任者及びリーダー大学等との役割等の関係を含む) 等を記載して下さい

クラスター大学 (予定1)

- ・ 研究開発が順調に進捗し、当初は参画の必要がないが、進捗につれて新規なクラスター大学が必要になると予想される場合に、記載してください。
- ・ 記入方法は、クラスター大学(1)の様式に準じますが、候補者の名前が未定の場合は記入する必要はありません。

(記入例)

研究機関名	◇◇大学 ◇◇研究科 ◇◇専攻 (所属研究機関コード <sup>1)</sup> )		
当該研究機関からの 研究開発参加者	氏名	役職	エフォート (主たる共同研究者のみ)
(主たる共同研究者→)	〇〇 〇〇 (研究者番号 <sup>2)</sup> )	教授	◇◇%
	〇〇 〇〇	准教授	—

○ 研究題目及び概要

- ・ 研究題目
- ・ 研究開発概要

当該機関が担当する研究の概要を簡潔に記載して下さい。

- ・ 研究開発構想における位置づけ

研究開発構想を実現するために当該機関が必要不可欠であることの理由、位置づけ(研究責任者及びリーダー大学等との役割等の関係を含む)等を記載して下さい

## 2-3. 企業の研究参画体制

- ・ 企業の参画者を機関ごとに記入して下さい。
- ・ 企業の数に上限はありませんが、研究開発構想の遂行に最適に必要な研究開発チームが編成されているかも、重要な選考の観点となります。
- ・ 研究責任者が担う役割が中心でない、企業の役割・位置づけが不明である研究開発チームの編成は、研究開発実施体制としては不適切です。

### 企業(1)

(記入例)

企業名	株式会社◇◇ ◇◇研究所 (所属研究機関コード <sup>1)</sup> )		
企業からの参画者	氏名	役職	エフォート (主たる共同研究者のみ)
(主たる参画者/主たる共同研究者→) (支援者として参画し研究開発費を受けない場合は「研究参画者」、研究開発を実施し受ける場合は「共同研究者」となります。該当する方を選択してください)	〇〇 〇〇 (研究者番号 <sup>2)</sup> )	主任研究員	◇◇%
	〇〇 〇〇	ユニットリーダー	—

- ・ 「主たる参画者/共同研究者」の行は、必要に応じて追加・削除して下さい。
- ・ 本様式は、必要に応じて番号を増加し、追加して下さい。

当該企業が研究開発費を受ける場合、以下1) 2) を記入して下さい。当該企業が研究開発費を受けない場合は不要です。

- 1) 主たる共同研究者は、所属先の e-Rad 所属研究機関コードを記載して下さい。
- 2) 主たる共同研究者は、科学研究費補助金研究者番号がある方はその番号、ない方は e-Rad へ研究者情報を登録した際に付与される 8 桁の研究者番号を記載して下さい。

(当該企業が研究開発費を受けずに参画する場合)

#### ○ 果たす役割

当該企業が、研究責任者及びリーダー大学をどのように支援するかについて記載して下さい。

(当該企業が研究開発費を受けて共同研究を実施する場合。クラスター大学(1)と同様の要領で記載して下さい。)

#### ○ 研究題目及び概要

- ・ 研究題目
- ・ 研究開発概要

- ・ 研究開発構想における位置づけ

研究開発構想を実現するために、当該企業が研究開発費を受けて共同研究を行うことが必要な理由、位置づけ（研究責任者及びリーダー大学等との役割等の関係を含む）等を記載して下さい。

### 3. 研究開発費計画

- 研究開発期間における研究開発チーム全体の費目別の研究開発費計画と研究機関別の研究開発費計画を年度ごとに記入して下さい。
- 面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究開発費計画を提出いただきます。
- 研究開発の目標を達成するのに最適な、研究開発実施体制および研究開発費計画を提案してください。これらの必要性・妥当性およびコストパフォーマンス等は、重要な選考の観点となります。
- 評価委員およびPDによる厳正な評価、SIPの予算状況、PDによるマネジメント等に応じ、採択後に見直されることがあります。
- 特に、共用にふさわしい研究設備については、集約した1～3カ所をチーム間で共用することが有効であると考えられるため、採択された場合も、全てのチームに提案通りの整備を許可するのではなく、選考の際にPDが、当該設備を購入・設置するのに最適なチームを1～3程度絞り込み、それに合わせて各チームの予算配分を調整します。

(記入例)

○ 費目別の研究開発費計画 (研究開発チーム全体)

[単位：千円]

	初年度 (H26. 9～ H27. 3)	2年度 (H27. 4～ H28. 3)	3年度 (H28. 4～ H29. 3)	4年度 (H29. 4～ H30. 3)	最終年度 (H30. 4～ H31. 3)	合計
設備費 <sup>1)</sup>	250,000	300,000	150,000	80,000	80,000	860,000
材料・消耗品費 <sup>2)</sup>	20,000	30,000	50,000	50,000	50,000	200,000
旅費 <sup>3)</sup>	5,000	8,000	15,000	20,000	20,000	68,000
人件費・諸謝金 <sup>4)</sup> (研究員等の数)	25,000 (5)	50,000 (6)	60,000 (7)	60,000 (7)	55,000 (6)	250,000
その他 <sup>5)</sup>	8,000	1,000	10,000	10,000	10,000	39,000
合計	308,000	389,000	285,000	220,000	215,000	1,417,000

(研究開発の開始時期は各種調整によって遅れることがあります。終了時期は評価によって変更されることがあります。)

研究開発費の費目と、その用途は以下の通りです。

- 1) 設備費：設備を購入するための経費
- 2) 材料・消耗品費：材料・消耗品を購入するための経費
- 3) 旅費：研究責任者や研究開発参加者の旅費
- 4) 人件費・諸謝金：研究員・技術員・研究補助者等の person 費、諸謝金  
(研究員等の数)：研究開発費で person 費を措置する予定の研究員、技術員、研究補助者の人数
- 5) その他：上記以外の経費 (研究成果発表費用、機器リース費、運搬費等)

○ 特記事項

設備費、人件費が研究開発費総額の 50%を超える場合、材料・消耗品費、旅費それぞれが研究開発費総額の 30%を超える場合は、その理由を本項に記載して下さい。

○ 研究機関別の研究開発費計画

[単位：千円]

研究機関名	初年度 (H26.9～ H27.3)	2年度 (H27.4～ H28.3)	3年度 (H28.4～ H29.3)	4年度 (H29.4～ H30.3)	5年度 (H30.4～ H31.3)	合計
〇〇大学 (リーダー大学)	150,000	233,000	120,000	80,000	75,000	658,000
◇◇研究機構 (クラスター大学(1))	56,000	53,000	53,000	40,000	40,000	242,000
◇◇大学 (クラスター大学(2))	51,000	52,000	52,000	48,000	48,000	251,000
(株) 〇〇	51,000	51,000	60,000	52,000	52,000	266,000
合計	308,000	389,000	285,000	220,000	215,000	1,417,000

クラスター大学など研究機関の行数は必要に応じて追加して下さい。

(研究開発の開始時期は各種調整によって遅れることがあります。終了時期は評価によって変更されることがあります。)

○ 活用予定の主要設備 (機器名、設置場所)

- ・ 本提案の研究開発の実施に必須であり既存のものを有効活用できる設備について記載してください。
- ・ 設備の効率的な運用が計画されているかも重要な選考の観点になります。

(記入例)

〇〇〇〇〇〇	〇〇大学
〇〇〇〇〇〇	〇〇大学
〇〇〇〇〇〇	〇〇大学
〇〇〇〇〇〇	〇〇研究機構
〇〇〇〇〇〇	〇〇大学

○ 導入予定の主要設備 (設置場所、機器名、価格、購入年度)

- ・ 1件5,000千円以上で購入予定の設備について記載してください。
- ・ 共用にふさわしい研究設備 (シャシーダイナモ、エンジンダイナモ等) が含まれる場合、共用を想定している設備を明確にしてください。
- ・ 共用にふさわしい研究設備については、集約した1～3カ所をチーム間で共用することが有効であると考えられるため、採択された場合も、全てのチームに提案通りの整備を許可するのではなく、選考の際にPDが、当該設備を購入・設置するのに最適なチームを1～3程度絞り込み、それに合わせて各チームの予算配分を調整します。
- ・ 設備の効率的な運用が計画されているかも重要な選考の観点になります。

SIP\_燃焼\_チーム  
(様式3)

(記入例)

〇〇大学	〇〇〇〇〇〇	150,000 千円	〇年度	【共用設備に該当】
	〇〇〇〇〇〇	50,000 千円	〇年度	【共用設備に該当】
	〇〇〇〇〇〇	100,000 千円	〇年度	【共用設備に該当】
◇◇機構	〇〇〇〇〇〇	5,000 千円	〇年度	
	〇〇〇〇〇〇	10,000 千円	〇年度	
◇◇大学	〇〇〇〇〇〇	5,000 千円	〇年度	

## 4. 論文・著書リスト

### 4-1. 研究責任者の論文・著書リスト

#### ○ 主要文献

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

- ・ 近年に学術誌等に発表した論文、著書等のうち今回の提案に関連すると思われる重要なものを選んで、A4用紙1ページ程度で現在から順に発表年次を過去に遡って記入して下さい。

#### ○ 参考文献

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

上記以外にも提案を理解する上で必要な関連文献がありましたら挙げて下さい。

## 4-2. 主たる共同研究者の論文・著書リスト

主たる共同研究者ごとに、研究責任者の記載要領と同様に記入して下さい。

主たる共同研究者：○○ ○○ (△△大学 教授)

### ○ 主要文献

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

### ○ 参考文献

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

## 5. 特許リスト

### 5-1. 研究責任者の特許リスト

#### ○ 主要特許

出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日

- ・ 近年に出願した特許のうち今回の提案に関連すると思われる重要なものを選んで、A4用紙1ページ以内に記入して下さい。

### 5-2. 主たる共同研究者の特許リスト

- ・ 主たる共同研究者ごとに、研究責任者の記載要領と同様に記入して下さい。

主たる共同研究者：○○ ○○ (△△大学 教授)

#### ○ 主要特許

出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日

## 6. 他制度での助成等の有無

研究責任者及び主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等制度での助成等について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記入して下さい。記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

### <ご注意>

- ・「不合理な重複及び過度の集中の排除」に関しては、P.エラー! ブックマークが定義されていません。を参照して下さい。
- ・現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、巻末のお問い合わせ先まで電子メールで連絡して下さい。

(記入例)

研究責任者(提案者): 氏名 ○○ ○○

制度名 <sup>1)</sup>	研究課題名 (代表者氏名)	研究期間	役割 <sup>2)</sup> (代表/ 分担)	(1)本人受給研究費 <sup>3)</sup> (期間全体) (2) # (H25年度実績) (3) # (H26年度予定) (4) # (H27年度予定)	エフォート <sup>4)</sup> (%)
科学研究費補助金 基盤研究 (S)	○○○○○○○○○○ ○○	H23.4 — H28.3	代表	(1) 100,000 千円 (2) 25,000 千円 (3) 25,000 千円 (4) 5,000 千円	20
科学技術振興調整費	○○○○○○○○○○ ○○ (○○ ○○)	H24.4 — H28.3	分担	(1) 32,000 千円 (2) 8,000 千円 (3) 8,000 千円 (4) 8,000 千円	10
(申請中) ○○財団○ ○研究助成	○○○○○○○○○○ ○○	H25.4 — H27.3	代表	(1) 15,000 千円 (2) 5,000 千円 (3) 10,000 千円 (4) —	5
... <sup>5)</sup>	...	...	...	...	...

- 1) 現在受けている、または採択が決定している助成等について、本人受給研究費(期間全体)が多い順に記載して下さい。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載して下さい(「制度名」の欄に「(申請中)」などと明記して下さい)。
- 2) 「役割」は、代表または分担等を記載して下さい。
- 3) 「本人受給研究費」は、ご本人が受給している金額(直接経費)を記載して下さい。
- 4) 「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要なとなる時間の配分率(%)を記載して下さい【総合科学技術会議における定義による】。本制度に採択されると想定した場合のエフォートを記載して下さい。申請中のものは採択された場合のエフォートを記載してください。
- 5) 必要に応じて行を増減して下さい。

(記入例)

主たる共同研究者：氏名 ◇◇ ◇◇

制度名 <sup>1)</sup>	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 <sup>2)</sup> (代 表/ 分担)	(1)本人受給研究費 <sup>3)</sup> (期間全体) (2)〃 (H25年度実績) (3)〃 (H26年度予定) (4)〃 (H27年度予定)	エフォート <sup>4)</sup> (%)
厚生労働科学研究費 補助金	◇◇◇◇◇◇◇◇ ◇◇◇	H24.4 — H28.3	代表	(1) 45,000 千円 (2) 10,000 千円 (3) 5,000 千円 (4) 5,000 千円	20
・・・ <sup>5)</sup>	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・

(記入例)

主たる共同研究者：氏名 □□ □□

制度名 <sup>1)</sup>	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 <sup>2)</sup> (代 表/ 分担)	(1)本人受給研究費 <sup>3)</sup> (期間全体) (2)〃 (H25年度実績) (3)〃 (H26年度予定) (4)〃 (H27年度予定)	エフォート <sup>4)</sup> (%)
科学研究費補助金 特定領域	□□□□□□□□ □□□□ (□□ □□)	H25.4 — H29.3	分担	(1) 25,000 千円 (2) 5,000 千円 (3) 5,000 千円 (4) 5,000 千円	15
・・・ <sup>5)</sup>	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・

1) ~4) については前ページのカッコ内をご参照下さい。

5) 必要に応じて行を増減して下さい。

## 7. 提案者の略歴

氏名	
<p>学歴 (大学卒業以降)</p>	<p>(記入例)</p> <p>昭和〇〇年 〇〇大学〇〇学部卒業</p> <p>昭和〇〇年 〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程〇〇専攻修了 (指導教官：〇〇〇〇教授)</p> <p>昭和〇〇年 〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程〇〇専攻修了 (指導教官：〇〇〇〇教授) <b>【記入必須*】</b></p> <p>平成〇〇年 博士(〇〇学)(〇〇大学)取得</p> <p>※ 利害関係にある評価者の排除のため、指導教官名、所属した研究室の室長名は必ず記載して下さい。</p>
<p>研究歴 (主な職歴と 研究内容)</p>	<p>(記入例)</p> <p>昭和〇〇年～〇〇年 〇〇大学〇〇学部 助手 〇〇教授研究室で〇〇〇〇〇〇について研究</p> <p>昭和〇〇年～〇〇年 〇〇研究所 研究員 〇〇博士研究室で〇〇〇〇に関する研究に従事</p> <p>平成〇〇年～〇〇年 〇〇大学〇〇学部教授 〇〇〇〇について研究</p>
<p>照会先 (利害関係にも言 及すること)</p>	<p>提案者の研究について良くご存じの方を3名以上挙げて下さい(外国人でも可)。それぞれの方の氏名、所属、連絡先(電話/電子メールアドレス)を記入して下さい。選考の過程で、評価者が、提案内容に関して照会する場合があります。</p> <p>提案者と利害関係がある場合には、利害関係の内容についても記入して下さい(利害関係の定義は「4. 選考(3) 利害関係者の選考への不参加」を参照下さい)。</p> <p>(記入例)</p> <p>〇〇 〇〇：〇〇大学大学院工学研究科 TEL：XX-XXXX-XXXX、E-mail：XXXX@XX.ac.jp 利害関係：なし</p> <p>□□ □□：□□研究所□□研究室 TEL：XX-XXXX-XXXX、E-mail：XXXX@XX.or.jp 利害関係：共同プロジェクト(NEDO「〇〇〇」事業)実施中</p>

## 8. 人権の保護および法令等の遵守への対応

- 研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述して下さい。
- 例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。
- なお、該当しない場合には、その旨記述して下さい。

## 9. その他特記事項

- SIPに応募した理由、研究開発に際してのご希望、ご事情その他について、自由に記入して下さい。
- 海外の研究機関を研究開発チームに加える場合は、海外の研究機関に所属する共同研究者が必要であることの理由を記入して下さい。
- 研究開発実施場所が現在の所属機関と異なる場合は、その理由を記入して下さい。
- 特筆すべき受賞歴等がある場合には、必要に応じてこちらに記入して下さい。
- 研究開発実施期間中に研究責任者が定年を迎える場合、定年後の研究開発実施体制に関する考えや予定を記入して下さい。具体的な体制について、面接選考にて詳しい説明をお願いすることがあります。また、面接選考時に、所属（もしくは予定している）機関の長による学内での身分保障等を明記した承諾書の提出をお願いすることがあります。所属機関長とは学長、理事長等のことを指し、部門長、学科長、センター長等のいわゆる下部組織の長を指すものではありません。

